

編集後記

今年の夏は正にアッチッチの日が続きました。皆様、如何お過ごしですか。東京都心の真夏日は、過去最多日数の71日に達したとのこと。

熱いと言えば中国の動きに目が離せない。上海万博に沸き立つ中国の2010年度のGDPは日本を抜き去って世界第2位になると言われており、もたついた政治と製造業の海外移転で元気が出ない日本に比べ、良きにつけ悪きにつけ中国のバイタリティーには目を見張るものがある。今年のTECHNO FRONTIERでも、中国の磁石メーカ4社が独立ブースを持って日本企業ユーザの獲得を本格的に始めていた。

希土類の輸出許可(EL)枠が狭められ、希土類価格が高騰した。中国ではEL制度で輸出企業と数量を管理しているが、希土類の需要回復に伴い輸出規制の強化を再開した。日中ハイレベル経済対話もむなしく、日本側からの希土類輸出枠拡大の要求に対して中国側は応じないという結果になった。そんな中、追い打ちをかけるように漁船衝突事件が起こり、にっちもさっちもいかない状況である。

NEDOの支援もあり、希土類磁石に頼らないモータの開発が精力的に進められている。上記の状況を打開するための一手段として極めて重要なテーマである。今後も積極的にこれらのテーマを技術例会などで取り上げて動きを見守っていきたい。

5月に「環境・省エネに貢献する磁気応用の最新動向」と題して技術例会を開催した。参加者は92名となり大変活気のある会議になった。講演内容は、(株)東芝殿の直列型可変磁力モータ以外、本号に再掲載の許可が出たのでご覧頂ければ幸いである。

また、5月、6月、7月には谷腰欣司氏を講師にお招きして、「トコトンやさしいモータの話」と題して前期寺子屋BM塾を実施した。磁石自体は理解しても実際に使われるモータについてはなかなか理解しにくいということもあり、会員ばかりでなく一般からも多数の参加申込があり、寺子屋というには参加者が多すぎるのではという苦情が出るほどの盛会であった。

最近見たTV番組で感心したものが2つほどある。

宮崎県のDIY店ハンズマンや千葉県ユーカーが丘の街づくりでは徹底的にお客に尽くす姿勢には改めて驚きを感じた。“お客様は神様”、“お客のニーズを大切に”とはよく言われるが、一般に空念仏に終わっている感じがする。お客の身になって商売すべきとは言うもののどこか中途半端なのが普通である。

また、トクー！トラベルで行っている1泊109円のホテル旅館の話も面白かった。インターネット時代だからこそ考えられる宣伝費の使い方に関する話である。

それぞれ、協会運営にも大変参考になる話である。一生懸命考えよう！なせば成る！

機関紙編集委員長

大森 賢次